

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度第3回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和6年3月8日(金) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時30分 閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 第1・第2研究室
議 長 氏 名	会長 清水繁
出席委員(者)氏名	清水繁、大竹千里、野崎皓布、森谷秀一、石川京子、浅地由紀子、松田千代、青山衣津子、芳賀隆夫
欠席委員(者)氏名	塩澤榮一
説明者の職氏名	館長 平岡康子、副主幹 松下麗比奈、西武分館長 本田潤一
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和5年度下半期の事業について (2) 令和6年度事業計画について (3) その他 4 その他 5 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	・ 次第 ・ 令和5年度下半期 入間市立図書館事業報告 (P1~P2) ・ 令和6年度入間市立図書館事業計画 (P3~P6)
事務局職員職氏名	部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、館長 平岡康子、副主幹 松橋茂子、副主幹 松下麗比奈、主任 佐藤敏章 主任 田中麻里
会議録作成方法	要点筆記方式

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1.開会

2.会長あいさつ

3.報告事項

(1) 令和5年度下半期の事業について

(2) 令和6年度事業計画について

(3) その他(図書館システムについて、第3次入間市立図書館基本計画について、蔵書点検結果について)

4.その他 なし

5.閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
松下副主幹	<p>報告事項 (1) 令和5年度下半期の事業について (資料P1～P2に基づき説明) 最初に本館と宮寺配本所分の事業について報告いたします。</p> <p>本館では、10月に入間万燈まつりに合わせて「図書館まつり」を行いました。入間万燈まつり自体が、4年ぶりの通常開催となり、図書館でも、子ども向けにおはなし会スペシャルを3回と、館内を回って本の分類に関する謎を解いていく「謎解き!名探偵」、そして、資料を借りた方を対象にくじ引きを行い、お祭りを盛り上げました。</p> <p>11月には、コロナ禍で中止していた「赤ちゃんおはなし会」を再開しました。通常のおはなし会と違い、赤ちゃん向けの絵本や手遊びなどに特化した内容で、ボランティアグループどんぐりさんの協力を得て、月1回第3火曜日に行っています。</p> <p>なお、第1回図書館協議会でのご意見を踏まえ、本館では、おはなし会ののぼり旗を12月より導入いたしました。図書館のキャラクターとんちゃんのイラストが描かれたもので、おはなし会がある日には、玄関に設置し、子どもたちからも好評を得ています。</p> <p>また、12月には、「冬のおたのしみ会」を行いました。こちらも、コロナ禍中は中止または小規模開催としていましたが、4年ぶりに通常開催としたところ、85名もの参加があり、親子でボランティアグループどんぐりさん上演の人形劇等の出し物を楽しんでいただけました。</p> <p>1月と2月には、「読み聞かせボランティア研修会」を行いました。これは、現在活動している各館の読み聞かせボランティアグループの皆さんを対象に、改めて、図書館での読み聞かせについて学んでいただこうと開催したもので、第1回目は「読み聞かせの基本について」、第2回目は、科学読み物研究会会員である横田マチ子さんを講師に「科学絵本について」行いました。</p> <p>また、表には記載がございませんが、年間を通して様々な本の特集展示を行いました。その中で、特に反響が大きかったのは高齢者支援課と共催で2月に行った「人生会議」についての展示です。「人生会議」とは、厚生労働省が取り組んでいる、もしものために自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことで、関連図書の展示のほかに、人生会議のノートを配布したことも功を奏しました。</p> <p>宮寺配本所では、11月におはなし会スペシャルを行いました。絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、ミニ絵本づくりを行いました。また、同じく11月に一般書の入れ替え、2月に児童書の入れ替えを行い、蔵書に変化を持たせました。</p> <p>宮寺配本所については、宮寺・二本木地区にとって重要な図書館拠点と認</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>本田西武分館長</p>	<p>識しておりますので、今後とも、イベントや蔵書の入れ替えを行ったりすることで、宮寺・二本木地区センターとも連携を図りながら、活性化するよう努めてまいります。</p> <p>この3月17日には、移動図書館やまばと号が、青少年活動センターの春フェスに参加予定です。木陰で読書を楽しんでいただけるよう、準備を進めているところです。</p> <p>その他の事業につきましては、資料をご覧ください。本館と宮寺配本所の事業報告は以上です。</p> <p>指定管理3分館の事業報告をいたします。</p> <p>西武分館ですが、児童向け事業では昨年度から引き続き実施した「ぬいぐるみお泊り会」、クリスマス装飾を施した手提げ袋に複数冊の絵本を入れて貸し出す「クリスマスおたのしみ袋」、年明け1月に本を借りるとひける「新春おみくじ」などが大変好評でした。読書を楽しむだけでなく、本を楽しく借りていただけるよう工夫をしております。</p> <p>一般向け事業では、再開した「ミニシアター(映画会)」、指定管理初年度から連続開催の「歴史講座 渋沢栄一」、「新年福袋」による本の貸出など多くのご参加ご利用をいただきました。また、今年度は収容人数に限りのある西武分館から、駐車台数・収容人数共に大きい産業文化センターに出張講座という形で「生活講座 エンディングノートは始まりノート」を開催し、多くのご参加をいただきました。年度末に予定しております「認知症サポーター養成講座」「防災工作」にも多くのお申し込みをいただいております。</p> <p>金子分館では常に地域連携を図りつつ、地域の歴史や自然、文化、子から大人までの学び支えることを目的とした事業を行いました。「親子で楽しむわらべうた講座」「金子地区文化祭」への参加、「自然環境講座」、「郷土歴史講座」の開催、子育て支援センターと連携した二本木地区センターへの「出張おはなし会」の定期開催、宮寺小学校への出張授業「調べる学習講座」のなど、すべての人が利用しやすいようきめ細かな図書館サービス提供に心がけております。</p> <p>藤沢分館では、乳幼児や児童の多い藤沢地区の図書館として、子供の読書活動支援のため図書館利用促進となる事業に注力しました。定例のおはなし会以外に「布絵本おはなし会」「英語のおはなし会」「青空おはなし会」「こども映画会」「ぬいぐるみおとまり会」などを開催し、多くの児童・幼児の参加をいただきました。また新規事業として「日本最古の地球儀をつくろう」という学習要素の高い工作会も開催しております。</p> <p>大人向けの事業としましては、昨年度に引き続き「郷土歴史探訪 埼玉の酒造」についての講演も行き、参加者から高評価をいただくことができました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>また、3分館の共通事業としましては3月16日(土)から4月まで開催する「読書の木」を今年度も開催します。子どもから大人まで参加できます。おススメ本を葉型のカードに記入して木を生き茂らせてゆく企画です。昨年度も500名以上のご参加をいただいた企画で、今年度も多くのご参加を期待しております。</p> <p>全館共通事業の「図書館を使った調べる学習コンクール」につきましては、今年度も市内全16校から前年比145%となる373名からのご応募をいただくことができました。</p> <p>入間市コンクール中学年・高学年の部での上位入賞6作品を、全国コンクール最終審査会に推薦しました。結果、扇小学校4年生が文部科学大臣賞に次ぐ優秀賞・NHK賞に入選し、2月24日に都内で開催された全国コンクール表彰式で表彰されました。また、豊岡小学校4年生も奨励賞に入選しました。</p> <p>全国11万8千点を超える応募の中で、入間市から上位入賞者を2名も輩出できたことは、とても喜ばしい事と思います。</p>
森谷委員	<p>おはなし会ののぼりを図書館の前に立てていただきましたが、非常に目立ってわかりやすい素敵なのぼりだと思います。</p>
平岡館長	<p>協議会でご意見をいただき、設置しました。のぼりは、おはなし会をPRするうえで、有効的な手段となりました。</p>
芳賀委員	<p>各館の映画会など、楽しそうな事業ですが広報いるまにお知らせが載っていないような気がします。当日も館内で呼びかけをするなど、もっと広報活動をした方が、大勢の方にご参加いただけるのかと思います。</p>
平岡館長	<p>図書館の事業については、広報いるまに掲載したいところですが、紙面の都合などもあり、全ての事業を掲載することは難しい状況です。図書館のホームページや、各館でチラシを配布し広報活動に努めてまいります。</p>
松下副主幹	<p>(2)令和6年度事業計画について (資料P3～P6に基づき説明)</p> <p>本館では、令和6年度も今年度と概ね同様の事業を計画しています。</p> <p>5月～7月にかけて、図書館利用教室と施設見学を行います。図書館利用教室は、小学2年生を対象に、各学校に図書館職員が出向いて、図書館の利用案内や本の紹介を行う事業です。また、図書館施設見学は小学3年生を対象に、各学校の児童が学年単位で図書館を訪問してもらい、館内を職員の案内のもと見学して、その機能・役割を理解してもらう事業です。</p> <p>また、年間を通して、市役所各関係課との連携事業を行ってまいります。</p> <p>宮寺配本所では、8月と10月におはなし会を行うほか、今年度同様に本の入れ替えを行います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>本田西武分館長</p>	<p>また、年間を通して、ブックスタート関連事業として、健康福祉センターが行っている各地区センターでの「赤ちゃんサロン」に出向き、赤ちゃんと保護者に向けて読み聞かせ等を行う事業を開始します。</p> <p>最近では、茶の都出前講座として行っている「読み聞かせ講座」の依頼も増えており、乳幼児へのサービスの必要性を現に感じているところございます。また、赤ちゃんおはなし会の再開や「赤ちゃんサロン」での読み聞かせなども行うことで、1年間を通し、特にこども向けサービスに重点を置き、子育て支援の充実及び子どもの読書活動の推進を図ってまいります。</p> <p>以上、来年度も読み聞かせボランティアグループのどんぐりの皆さんを始めとするボランティアの皆様のご協力をいただきながら、学校や関係各課と連携・協力し、図書館が担うべきサービスの提供・充実を図っていきたくと考えております。</p> <p>指定管理4年目となる令和6年度は、過去3年の各館実績、利用者ニーズに基づいた事業展開を図り、更なる図書館の利用促進、読書推進に注力します。</p> <p>西武分館では、地域連携を目的に子育て支援センター、地域包括センター、文化創造アトリエAMIGOとの共催事業を強化します。</p> <p>また、令和3年度から5年度に実施し参加者からご好評をいただいている事業の継続実施、令和5年度から試験的に再開した映画会の開催回数を増やして実施します。定例おはなし会につきましては、開催曜日の変更をして利用促進を図ります。</p> <p>金子分館では、金子地域の歴史や自然、文化、子どもたちの学びや成長を支える事業展開を行い、すべての人が利用しやすいようきめ細かな図書館サービスの提供を推進します。</p> <p>子どもが本とふれあうことができるよう、関係機関や関係団体と連携を図りながら「おはなし会」「わらべうた講座」を開催するとともに、来館サービスだけでなく乳幼児・小学生向けの読書活動を支援する出張講座「出張おはなし会」、小学校での「調べる学習講座」等も引き続き積極的に取り組みます。</p> <p>また、地域の歴史や自然を理解するための「郷土講座」「自然環境講座」、図書資料への理解を深めるための「古典文学講座」等の事業を行い、図書館の利用拡大に努めます。</p> <p>藤沢分館では、乳幼児や児童の多い藤沢地区の図書館分館として、未来を担う子供の読書活動支援のため「おはなし会」「工作会」「おたのしみ会」等の幼児・児童向けイベントを、ボランティアグループと連携し積極的に実施します。また、児童・生徒向けには新たなボランティア団体と連携し、地域全体と協業しながら子供の居場所を創造する取り組みを実施します。</p> <p>引き続き「図書館を使った調べる学習コンクール」「調べる学習講座」の実施、学習機会を創出するために年間を通して「試験前臨時学習室」を継続開設します。</p> <p>一般対象では、「藤沢朗読会」「ビブリオバトル」や「バリアフリー映画会」等、幅広い世代の様々なニーズに柔軟に応えられるよう努め、図書館の利用拡大に努めます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
森谷委員	<p>共通事業では「図書館を使った調べる学習コンクール」および関連事業の「調べる学習講座」におきましては、参加者の裾野を広げるために講座のカリキュラムを一部見直し「はじめての調べ学習講座」を新設します。</p> <p>コロナ禍では実現が難しかった「希望する小学校への出張授業」も実施したいと考えております。</p> <p>藤沢分館の「英語多読講座」「英語おはなし会」という事業は、どのような内容となりますか。</p>
原谷藤沢分館長	<p>「英語おはなし会」は、幼児・小学生低学年向けの、簡単な英語の絵本のおはなし会です。</p> <p>「英語多読講座」は、来年度から新たに行う事業です。英語学習において、英語にたくさん触れる、いろいろな本を読むということが大事と言われております。学校では文法を教えますが、この多読講座では、意味が分からなくても英語の本を発音していく、慣れ親しんでいくという方法を取り入れて実施していくものです。</p>
森谷委員	<p>講師はどのような方に依頼するのでしょうか。</p>
原谷藤沢分館長	<p>「英語おはなし会」については、海外経験のあるスタッフが行っております。「英語多読講座」については、NPO法人の団体の方に来ていただく予定です。</p>
森谷委員	<p>参加されている方は多いですか。</p>
原谷藤沢分館長	<p>「英語多読講座」はこれから始める事業なのでわかりませんが、「英語おはなし会」については、子ども以外に、近隣の図書館の関係者など大人も何人が参加されました。</p>
野崎委員	<p>金子分館の、宮寺・二本木地区センター二本木分館での、出張おはなし会の際、子どもたちの反応はいかがでしょう。宮寺・二本木地区センター二本木分館は、いつ行っても子どもがいるため、図書館の活動をするのにも大変効果的な場所だと思います。さらに活動を広げていただいて、子どもにとって魅力ある場所にするために、頑張ってくださいと思います。</p>
内野金子分館長	<p>二本木・宮寺地区の子育て支援センター「むぎ」と連携し、出張おはなし会を行っています。親子でご参加されている方が多いため、読み聞かせの仕方や、赤ちゃん絵本の紹介をしております。</p>
石川委員	<p>出張おはなし会では、図書館の方が、2～3ヶ月の赤ちゃんでも読み聞かせは早すぎることはないと言われ、絵本の楽しさに触れながら、自分自身も癒されるとママたちに大人気です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
野崎委員	<p>たくさんのお母さん方が子どもを連れて来るという環境なので、ここで色々な体験をしてもらいたいと思います。</p>
石川委員	<p>「出張おはなし会」と「茶の都出前講座」の違いはなんですか。</p>
松下副主幹	<p>「茶の都出前講座」は社会教育課が主催しているもので、博物館や他の課の色々なコースがあるうちの1つに、図書館の「読み聞かせ講座」があります。相手方から依頼があると、出張してその場でお話をするという講座です。この「読み聞かせ講座」では、親子で絵本を楽しみましょうということで、出張おはなし会と同じような内容ですが、赤ちゃんに絵本を読んであげましょう、こんな本がありますよ、ということを読み聞かせとともにさせていただいていることに特徴がある講座です。</p>
石川委員	<p>申込先が違うということでしょうか。</p>
松下副主幹	<p>「茶の都出前講座」の申込先は、社会教育課になります。</p>
浅地委員	<p>去年ぐらいから色々な行事が復活して、とても嬉しいです。主に西武分館を利用していますが、いつも季節の折り紙を飾ってあってとても素敵だな、習いたいなと思っていたら11月に「折り紙教室」があるので嬉しい企画だと思います。「和綴じ本」のワークショップも以前に参加して、今回もあるので楽しみです。</p>
平岡館長	<p>様々な事業へご参加いただくとともに、他にもこういった事業をというご意見がございましたら、お聞かせいただければと思います。</p>
芳賀委員	<p>藤沢分館の事業計画にある「試験前臨時学習席」についてですが、今までも実施していただいているものですが、試験前に、地区センターの会議室を借りて学習席を設けていただけるのは大変ありがたいと思います。 そこで、現在の臨時学習席の利用状況と、他館での必要性についてお聞かせください。</p>
原谷藤沢分館長	<p>藤沢分館では、藤沢中学校と上藤沢中学校の2校に定期テストの日程を確認し、それに合わせてその前の土日に臨時学習室として、開催しています。 もともと藤沢分館は、個別学習席とオープン席あわせて30席ぐらいしかなく、授業後に来館する中高生の方や資格取得等のために大人の方もかなり来られるので、学習席はかなり満席となります。特に、試験前には開館とともに20～30人来られるので、地区センターから部屋をお借りして開催しています。 臨時学習室の利用状況ですが、大人の利用は特に制限していませんが、中学生の利用がほとんどです。 また、今年度までは臨時学習室だけでしたが、来年度は子ども食堂と連携</p>

発 言 者	発 言 内 容
本田西武分館長	<p>して朝から夕方まで学習できるように、食事の提供も企画しています。</p> <p>西武分館におきましては、建物の2階に学習室、参考資料室がございまして、学習スペースとしては十分余裕があります。しかしながら、夏休みの時期など年に数日満席になる日もありますので、その場合は空いている会議室を開放して臨時学習室として活用しています。</p>
内野金子分館長	<p>金子分館では、学習席は試験前に一杯になる程度ですが、複合施設である金子地区センターでは、子どもの居場所づくりということで日常的に開いている部屋を開放していて、出入りが頻繁にされている状況です。特に学習室ということではなく、図書館内の席で今のところご満足いただけているようです。</p>
芳賀委員	<p>利用者側としては大変良い事業だと思います。子どもたちに場所の提供をして支援をしてほしいと思っています。</p> <p>本館の閲覧室開放事業の議論もありましたが、利用者が一人でもいる限りは場所の提供を考えていかなければならないと思っています。</p>
清水議長	<p>各館で地域に沿った活動をしていることを伺うことができました。次年度も講座が多く開催されるようで楽しみにしています。今回事業計画をみると、大人向けの生涯学習講座も開催されるので、大変良いことだと思います。図書館でも、目につくところに本の展示やブックツリーがあったり、知的意欲をもりたてる、本に親しみをもたせる工夫がされているのは頭が下がる思いです。</p> <p>金子分館の「郷土講座」は自然環境に恵まれた分館の近くを巡るということで、私もできたら参加したいと思っていますが、講座について簡単に説明願います。</p>
内野金子分館長	<p>「郷土講座」は、金子地区の旧道を、講師の方からの各施設の歴史などの説明を受けながら歩くものです。金子地区には周辺にお寺や神社など大変貴重な文化財がたくさんあり、企画しました。</p> <p>来週3月16日には3回目の「郷土講座」がありますが、参加者の募集はこれからですので、是非ご参加いただければと思います。</p> <p>来年度の講座では引き続き文化財について深く探っていきたいと考えております。</p>
芳賀委員	<p>「郷土講座」は誰でも参加できるのですか。</p>
内野金子分館長	<p>どなたでもご参加いただけます。市内の各地域の方からご参加いただいています。</p>
森谷委員	<p>県民だよりに、3月27日～4月9日に「絵本週間」が開催されるとのことで、「埼玉県立図書館司書がすすめるとおきのえほん100冊」というの</p>

発 言 者	発 言 内 容
松下副主幹	<p>があるそうですが、P3の「子ども読書の日」と「絵本週間」と同じものなのですか。</p> <p>「子ども読書の日」「子どもの読書週間」に伴う春のおはなし会スペシャルは、読書推進運動協議会が主催して行っているものにちなんで実施しているもので、埼玉県とは違う取組みになります。</p> <p>「絵本週間」については、お話がありましたので、図書館でも取組みを進めてまいります。</p>
松下副主幹	<p>(3) その他 (図書館システムについて)</p> <p>令和5年1月にシステム更新を行い、ここで約1年が経過いたしました。この間大きなトラブルもなく、順調に運営できているところです。</p> <p>このシステムでは利用者向けの新たなサービスとして、フェリカやマイナンバーカードでの貸し出しを開始いたしました。令和6年1月末現在で総登録人数は142名となっております。</p> <p>また、入間市立図書館公式LINEアカウントも開設いたしました。LINEで友だち登録をして頂くと、資料検索が簡単にできるほか、マイポータルでは、利用者カードのバーコード表示や、貸出・予約中の資料について確認をすることができます。こちらの総登録者数は令和6年1月末現在494名となっております。さらなる活用を図るため、チラシを利用者に配布しPRに努めているところでございます。</p>
松下副主幹	<p>(第3次入間市立図書館基本計画について)</p> <p>「第3次入間市立図書館基本計画」は策定から2年を経過いたしました。図書館では、この計画の基本理念である「くらしに役立ち学びを支える身近な図書館」を目指し、日々の図書館運営を行ってまいりました。</p> <p>具体的な取組みのひとつとして、「図書館資料の収集・整理・保存・提供」というものがあります。そのなかで、市民のリクエストに対応しながら市民ニーズにあった図書館資料の提供に努めているところでございますが、図書館で購入できなかったものは、埼玉県内の他の図書館から本を借りる相互貸借制度を利用し、可能な限りお応えできるように努めております。このことは第2回の図書館協議会でもご意見をいただきましたので、こちらもさらなる周知のためポスターやチラシを用意し、利用者に気軽に本をリクエストいただけるように努めているところでございます。</p> <p>「レファレンスサービス体制」の充実として、この2月から本館では「国立国会図書館のデジタル化資料送信サービス」を開始いたしました。これは国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を図書館の館内で利用できるというサービスです。詳しくはお配りしたチラシをご覧ください。</p> <p>これまで調べ物等で読みたい本が国立国会図書館にしかなかった場合、国立国会図書館にいくか複写するかしか手段がなかったものを、図書館本館のインターネット席で閲覧することができるようになったものです。ぜひレフ</p>

発 言 者	発 言 内 容
松下副主幹	<p>アレンスに活用していただきたいと思っています。</p> <p>「電子図書館サービスの提供」では、令和4年度から5年度にかけて約2,300点のコンテンツを導入致しました。電子図書の特性により有効期限がきれて既に閲覧できなくなっている資料もございますが、今後とも利用状況を見極め検証しながら収集に努めてまいります。令和6年1月末現在の総貸出点数は4,076点、登録者数は2,163人となっております。</p> <p>さらに「居場所としての図書館環境の充実」については、協議会でのご意見をふまえ、令和5年6月から全館で主に閲覧席等で水分補給ができるように環境を整えました。通年で水分補給を可能としているため、特に夏場にはご好評をいただいております。</p> <p>この計画は令和8年までの5か年計画となっております。今後とも具体的な取り組みを通じ「暮らしに役立ち学びを支える身近な図書館」を実現できるように努めてまいります。</p> <p>(蔵書点検結果について)</p> <p>3月4日から8日までの間、蔵書点検のため休館をいただいております。本日が最終日ということで、最終的な点検のまとめをしているところですが、データの取りまとめは終了いたしましたので終了のご報告をするものです。</p> <p>蔵書点検とは、図書館にあるすべての資料の所蔵データの適正化、不明資料の検索をおこなうものでございます。</p> <p>不明点数というのは、利用者に貸出になっておらず、かつ図書館の書架にも見当たらないものの点数です。今回はシステム更新から2回目の蔵書点検であり、職員も機器の扱いに慣れ、スムーズに点検を行うことができました。この結果をふまえ今後も利用者の方に必要な資料をすぐに提供でき快適にご利用いただけるよう努めてまいります。</p>
松田委員	不明資料についてですが、こういった資料が多いのですか。
平岡館長	小説が不明になることが多いです。
松田委員	除籍処理した後、不明の本をもういちど購入するということもあるのですか。
平岡館長	その本の必要性を検証して、再度購入することもあります。
青山委員	見つかった本というのは、例えば絵本が全然違うところの隙間に挟まっていたとか、雑誌が重なって入っていたとか、そういったものが見つかったという理解で良いですか。
平岡館長	そのとおりです。薄い本などが本と本の上に挟まっていたり、書架の裏側に入り込んでいたりなどがあります。蔵書点検でそのような資料の検索も行っております。

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 6 年 4 月 15 日</p> <p>議 長 の 署 名</p>	<p>清水 繁</p>